

災害看護

防災訓練を評価して より実践的なものに

前回の災害看護 PART5では**防災訓練の企画・運営ポイント**について紹介しました。今回は実施した防災訓練をより効果的なものにするために「**評価**」について考えてみましょう。

災害訓練の目的は、訓練そのものではなく、あくまで職員の防災対応能力の向上にあります。このため、参加者ひとりひとりの経験を蓄積し、部署や組織の弱点・課題を明らかにして、改善に取り組むことが重要です。実施した訓練を振り返るとき、みなさんの施設ではどのような方法で評価や検証をしていますか？ 意見交換や反省会などの際、感想を述べ合う会で終わらない工夫として、評価の視点やそのポイントについて紹介します。

防災訓練の評価ポイント

CSCATTT 関連訓練	
一元的指揮命令	「非常事態宣言」「診療継続可否」は、現場や関連行政へ発信されたか - 屋外退避を判断した際、退避宣言と退避場所はアナウンスされたか - 通信手段が確保され、情報収集とその伝達は円滑に行えたか - 被害状況や傷病者数の推移など、情報の時系列把握されたか 人、物、情報など変化する状況に応じて具体的な指示はなされたか
防護・消火	- 自身の安全確保とその後患者の安否確認がされたか 2次被害の予防は行えたか - 身の安全確保、危険区域のゾーニング、避難済みの目印など - 出火時の通報、初期消火や防煙設備の取扱いが適切に使用できたか
避難誘導	- 安全な避難経路を選択できたか - 非常口や階段など避難経路の安全確認と患者の誘導はできたか - 搬送資器材の選択と使用方法是適切だったか
救護	- トリアージタックの結果と記載された内容は一致していたか 2次評価と必要な処置は適切に行われたか - 退避場所や救護所での継続的な患者観察は行われていたか - 救護に必要な物品の準備や確保はされていたか
その他	- 想定外の死亡者や傷病者は発生していないか - 関連行政や応援者との連携は円滑だったか - マスコミへの警戒と対応の指示は行われたか



評価をする時には、

- 事前に、左記のポイントを基に評価表を作成しておき、訓練時に実際の行動場面をチェックする。
- 参加者に対して、事後アンケートで情報収集し、役割や行動の整合性を確認する。
- 提出された被害状況報告書や、トリアージタックの結果を検証する。

いずれにしても防災マニュアルとの隔たりを修正しながら、防災訓練を積み重ねることが重要です。

これまで平成23年より“KANAGAWA看護だより”の誌上で「**災害看護シリーズ**」として情報提供をしてきました。

- No.136 災害看護 PART1 災害サイクルをご存知ですか？
- No.137 災害看護 PART2 トリアージの基礎知識
- No.141 災害看護 PART3 災害現場に活かせるアクションカード
- No.146 災害看護 PART4 災害医療の7つのポイント
- No.148 災害看護 PART5 効果的な防災訓練を実施するために
- 今号 災害看護 PART6 防災訓練を評価してより実践的なものに

役に立っていますか？

災害時にそれぞれが役割を十分に発揮するためには、平時より防災訓練を通じて、具体的な対応策が施設の各部門、各スタッフに理解され、浸透していることが重要でしょう。

「災害に時なし、場所なし、予告なし」「備えあれば憂いなし」もう一度読み直し、活用してみたいかがでしょう。